

## ランドセル

もうすぐ、大きなランドセルを背負った1年生を見かける時期です。

この数カ月間、お店では何十色という、さまざまな色のランドセルが売られているのをご覧になって「カラフルになったなあ」と感じられた方も多いかと思えます。

近年、女の子はピンク系、男の子はブルー系、どちらからも人気があるのが水色だそうです。

このランドセル選びは、お子さんの希望通りの色で、すんなりと決まったでしょうか。もちろん、長く使う物ですし、そのほかの条件も重なるので一概には言えませんが、女の子ならこんな色、男の子ならこんな色という意識は働きませんでしたか。何色もあるといっても、女の子に赤やピンク系が、男の子には、黒や青系がまだまだ多いのは、このような親や祖父母の意向が働いているのかもしれません。

確かに実際、わが子を通うことになる学校の子ともたちを見たときに、男の子と女の子でランドセルの色に、それなりの傾向があると、多数派ではない、それとは違う色を選ぶのは、

勇気がいるというのが本音である方も多いでしょう。

また、子ども自身も、これまでの成長過程において、色だけでなく、おもちゃや遊びの中で、女(男)の子向けという考えが根底にある言動に出合つことがあります。例えば、女の子がヒーローものを好んだり、男の子が縫いぐるみを好んだりすることに對して、何らかの指摘を受ける「私はおかしいの。間違っているの。」ということになります。この瞬間、大人から子どもへ、男(女)の子らしいものという考えが引き継がれます。早くにその意識を引き継いだ子が、たまたまランドセルの色について指摘することがあるかもしれません。

大人の私たちが身に付いてしまった感覚を直すことは難しいですが、「みんなと違うかもしれないが、間違っていない。その人らしさと受け止める。」という認識を持ち、子どもたちに伝えることが大切ではないでしょうか。

どのような色や形でも「素敵なんだセル」ですから。

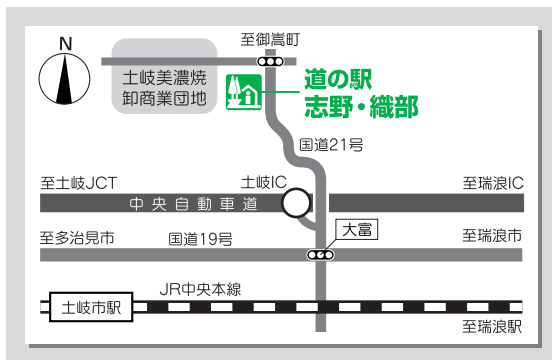


## 施設紹介

第12回

## 道の駅

## 志野・織部



中央自動車道土岐ICから、国道21号を北へ向かうと、大きな三角屋根と窯元のシンボルである煙突が見えてきます。これが、志野・織部・黄瀬戸の数々の名品が焼かれた古窯跡が多く遺る土岐を象徴する道の駅です。土岐市の玄関口に位置し、日本一の陶磁器大流通団地に隣接、食器としての陶磁器だけでなく、陶磁器を通した「ライフスタイル」をテーブルコーディネートで提案するとともに、食器からインテリアまで、多彩で魅力的な陶磁器をリーズナブルな価格で提供します。地元でも有名なお菓子屋さん、レストラン、花屋さんもあり、訪れる方々に楽しく過ごしていただける施設です。

### ◆施設内容

情報館(交通情報、天気予報、地域情報など最新情報提供)、陶遊館(陶器販売、レストラン、農産物販売所)

### ◆開館時間

午前9時～午後6時

(レストランは、午前10時～午後8時まで)

### ◆定休日

1月1日

### ◆住所

土岐市泉北山町2-13-1 ☎55-3017

